

富士見小だより



富士見小 HP

学校教育目標 「未来を切り拓く心豊かな児童の育成」
校 訓 かしこく やさしく 元気よく

上尾市立富士見小学校 上尾市柏座 4-3-8 電話 048 (771) 0505

令和7年2月3日
発行責任者
校長 吉田 充

地域と共にあゆむ富士見小

校長 吉田 充

今年の立春は2月3日のため、通常ですと2月3日の節分の日が、今年は前日の2月2日になりました。皆様のご家庭では、豆まきをしたり、恵方巻を食べたりなどの節分行事は行いましたでしょうか。暦のうえでは春になりましたが、まだまだ寒さ厳しい日が続いております。インフルエンザ等の感染症も予断を許さない状況ですので、引き続き、手洗い、うがい、換気などの基本的な予防策を講じながら、教育活動を進めてまいりたいと思います。

さて、令和6年度も残すところあと二月となりました。ここまで順調に教育活動を進めることができているのも、日ごろより保護者や地域の皆様方に支えていただいているおかげと感じています。

今年度は、「絆とつながりを大切にする学校」を学校経営の基本理念とし、児童相互、児童と教師の関わり合いの他にも、保護者や地域の方々など、学校を取り巻くすべての人たちとの関わりや、そうした方々への感謝の気持ちを大切することを軸に教育活動を進めてまいりました。

地域の皆様方のご協力によって行われるあいさつ運動、学校応援団の皆様による教育活動、教育環境整備等へのご支援、おやじの会の皆様による子供たちとの触れ合いなど、本校の子供たちは実にたくさんの皆様方との直接的、間接的な関わりにより、豊かな教育環境を提供していただいております。

学校応援団では、これまでのボランティア活動に加え、今年度は音楽支援部門とスポーツ支援部門を新設していただき、鼓笛活動や市民駅伝大会の参加などを支援して下さるなど、充実した活動を行うことができました。

そのほかにも、5年生を対象に地域の防災士さんを講師として実施した防災教室、3年生と地域の皆様とのあげお郷土こどもかるた体験など、普段の教室での授業だけでは学ぶことのできない内容にも触れ、広く深く学ぶ機会を設けることができました。

少子化や核家族化、都市化などの社会構造の変化は、人間関係や地域のつながりの希薄化の要因となり、家庭や地域の教育力の低下にもつながっていると指摘されています。家庭は、全ての教育の出発点であり、地域は保護者が子育ての仕方を学んだり、豊かな体験の場を提供したりする、家庭教育を支えるサポーター的な存在です。そして、学校は地域の中核として機能することで、学校・家庭・地域のそれぞれが、役割を確認し合いながら協働して子供たちを健やかに育ててまいりたいと考えています。

これからも、保護者、地域の皆様方と、富士見っ子のよさやがんばりを共有しながら、さらに可能性を伸ばしてまいりたいと思います。今年度も残りあと二月となりましたが、引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。